

職員の新型コロナウイルス感染症患者の発生について（報告）

本日、燕・弥彦総合事務組合の消防職員が新型コロナウイルスに感染していることが判明しましたのでお知らせいたします。

なお、当該職員は、感染の可能性が疑われたときから自宅待機をしているため、濃厚接触者に該当する職員はいません。また、当該職員の業務を原因とした市村民の皆様への感染拡大の可能性は低いものと捉えております。

消防署は基本的な感染対策を適切に実施し、消防体制は適正に確保しており、火災や救急等各種災害対応に影響はございません。

今後とも、感染予防と感染拡大の防止に努めてまいります。

【概要】

1. 判明日 令和4年1月20日(木)
2. 年代性別等 40歳代男性
3. 経過説明 1月15日(土)当直勤務
1月16日(日)当該職員は非番日
当該職員の家族が通う関係者から感染が確認されたため以後自宅待機とする
1月19日(水)当該職員の家族が受けたPCR検査の結果が陽性と判明、当該職員が濃厚接触者に該当しPCR検査を実施する
1月20日(木)PCR検査の結果、陽性と判明する

令和4年1月20日

燕・弥彦総合事務組合

管理者 燕市長 鈴木 力